

末松 登 北海道士族
石川 寬 北海道平民
福井 榮太郎 北海道平民

第五期 (明治二十六年二月卒業)

● 山崎 春江 北海道士族
西東 終吉 北海道士族
吉田 竹次郎 岡山縣平民

● 內藤 德太郎 北海道平民
茅原 次六 北海道平民
高野 力彌 北海道士族

● 松平 毅太郎 北海道平民
本郷 敏慎 北海道平民
井上 順一郎 北海道士族

小岸 存仁 北海道平民
山本 鶴松 北海道平民
佐瀬 成允 北海道士族

● 吉米地 金太郎 北海道士族
大西 伴次 北海道平民
舟橋 三八 北海道平民

小島 小次郎 北海道平民
石原 市助 北海道士族
小島 忠藏 北海道平民

山下 昌之助 鹿兒島縣士族
富田 儉四郎 北海道平民
庄田 萬里 北海道士族

第六期 (明治二十七年二月卒業)

● 齋藤 重孝 北海道士族
佐藤 修太 北海道平民
大山 達三 北海道平民

新谷 忠治 北海道平民
大木 甲太郎 北海道平民
立林 明吉 北海道士族

仁科 遠平 北海道平民
甲斐 沼榮太郎 北海道平民
鎌田 春司 北海道士族

高木 克昌 北海道平民
大河平 英熊 鹿兒島縣士族

第七期 (明治二十八年三月卒業)

田村 兼藏 北海道士族
坂本 吉郎 秋田縣平民
石野 富重 北海道平民
河野 虎市 北海道平民
今井 禎一郎 北海道平民
渡邊 左右吉 北海道士族
清水 勇吉 秋田縣平民
松原 憲治 北海道平民
小宮山 次郎 長野縣平民

第八期 (明治二十九年三月卒業)

三浦 竹太郎 北海道平民
山口 保三郎 北海道平民
伊藤 深松 北海道平民
中道 富太郎 北海道平民
大澤 金吾 北海道平民
佐藤 元 北海道士族
横井 音次郎 北海道平民
横井 嘉太郎 福岡縣士族
渡邊 孝一 北海道士族

第九期 (明治三十年三月卒業)

窪田 森太郎 北海道平民
有川 熊次郎 鹿兒島縣士族
渡邊 一士 北海道平民
宮島 信太郎 北海道平民

石田 昌人 北海道平民
吉植 庄三 北海道平民
遊佐 安治 北海道平民
藤島 貞雄 北海道平民
大河原 幾馬 北海道平民
佐治 壽六郎 北海道士族
津田 豐千葉縣平民

第十期 (明治三十一年三月卒業)

田下 鹿藏 新潟縣平民
永田 良三 北海道平民
田中 幸作 北海道平民
千葉 米三郎 北海道平民
三原 治 北海道平民
菊地 有隣 北海道士族
村山 朝呢 北海道平民
小藤 均 北海道平民

第十一期 (明治三十二年二月卒業)

吉川 銀之丞 北海道士族
辻村 高造 北海道平民
山田 太一郎 北海道平民
後藤 安治 香川縣平民
石井 莞爾 北海道士族
石川 五郎 北海道平民
日野西 長輝 東京府華族
鹽澤 恭助 秋田縣平民
増本 豊次 北海道平民
百田 孟一 山口縣平民
淺田 正吉 北海道平民
土川 孝次 北海道士族
山下 政一 北海道平民
間宮 光藏 北海道平民

井關 信之助 北海道平民
安藤 利生 北海道平民
駒崎 喜久雄 北海道平民
郷田 三介 北海道士族
鹽見 魁之 北海道平民
三瀬 眞若 愛媛縣士族
本田 親英 北海道士族
七尾 貞一郎 北海道平民
萩原 寅平 北海道平民
中村 正重 北海道平民
安井 忠男 北海道平民
細田 成吾 北海道平民
木村 彦四郎 北海道平民

第十二期 (明治三十四年三月卒業)

河野 義勝 北海道士族
千田 徳吉 北海道平民
智田 恭造 秋田縣平民
竹内 正慈 高知縣士族
市川 笥太 靜岡縣平民
山田 英一 鳥取縣平民

大佛 修一 北海道平民
長谷川 俊敏 鳥取縣平民

茂庭 孝元 宮城縣平民
高井 虎之助 廣島縣平民
山田 誠一郎 北海道平民

宇野 仁三郎 北海道平民
古田 正二 秋田縣平民
奥 徳平 北海道士族
福島 勝藏 北海道平民
佐藤 弘 福島縣士族

第十三期 (三十五年三月卒業)

宮 脇 富 北海道平民
石川 竹三郎 北海道平民
梨羽 長男 北海道平民
勝浦 龜齡 北海道士族
石突 友次郎 北海道平民

實 吉 萬 北海道平民
伊 藤 昇 北海道平民
本 間 寛 北海道士族
高橋 精二 北海道士族

森友 佐太郎 北海道士族
北島 久米作 北海道平民
宍戸 政治 北海道平民
中野 留三郎 北海道士族

第十四期 (明治三十六年三月卒業)

鈴木 重慶 島根縣士族
林 英吉 北海道平民
久米田 霞雄 北海道士族

田中 信親 秋田縣平民
太田 太吉 北海道士族
藏本 三助 北海道平民

定野 秀一 北海道平民
竹村 俊一 北海道士族
石山 時人 青森縣士族

山本 義輔 北海道平民
小島 東介 北海道平民
野呂 元衛 青森縣士族
關 英一郎 長野縣平民

第十五期 (明治三十七年三月卒業)

角館 喜一郎 北海道士族
山口 勤 北海道士族
長谷部 浩秋 秋田縣平民
佐原 太三郎 北海道平民
野村 惣彌 岐阜縣平民
赤羽 又晴 長野縣平民
三輪 成輔 北海道士族

(明治三十七年四月卒業)

茅野 一三 山梨縣平民

第十六期 (明治三十八年三月卒業)

伊藤 三太 岩手縣平民
加藤 繁藏 秋田縣平民

小野 菊三郎 北海道士族
原田 定一 北海道平民
森 重基 北海道士族
石川 芳三郎 宮城縣平民

赤松 義高 北海道士族
曲尾 和夫 北海道平民
櫻井 尚 北海道士族
浦上 時造 岡山縣平民
金井 俊英 長崎縣平民
仁平 直友 北海道平民

上田 源松 北海道平民
加藤 宗次郎 北海道平民

細田 勝次郎 青森縣平民
高瀬 信一 福岡縣平民
前平 義一 北海道士族
柏崎 武衛 北海道士族

布野 憲 北海道士族
百瀬 喜内 北海道平民
徳力 力 北海道士族
中 麻男 北海道士族
福士 卯三郎 北海道平民
内山 繁太郎 北海道平民

清原 平徳 島縣平民
澁谷 勝太郎 北海道士族

武田 三作 長野縣平民
水谷 最神 奈川縣士族
山本 清道 北海道士族
今野 治太郎 秋田縣平民

(明治三十八年五月卒業)

鹽野谷 平藏 北海道平民

第十七期 (明治三十九年三月卒業)

荒川 重理 東京府士族
上田 雄太郎 北海道平民
鈴木 清秀 北海道士族
田中 八九郎 北海道士族
宮川 守 北海道平民
久保 直一 新潟縣平民
高野 貞良 北海道士族
河村 諭一 北海道平民
西川 正次 長崎縣士族
汪 果清 國人

蘆野 吉太郎 北海道平民
白石 宗策 長野縣士族
横山 宗吉 北海道平民
河合 新造 北海道平民

君塚 貢 北海道平民
進藤 薫 秋田縣平民
郷 重吉 北海道平民

伊藤 正直 北海道士族
楠田 豐之助 北海道平民
定免 總一 石川縣平民
科部 重三郎 北海道平民
世戸口 信藏 福岡縣平民
佐野 四郎 北海道平民
邊 見重 鹿兒島縣士族
吉田 又次郎 北海道士族
町村 敬貴 北海道士族
屠 師 韓清 國人

神尾 正大 分縣平民
水野 良一 北海道平民
東條 正夫 北海道士族
勝藤 孝一 北海道平民
岩瀬 兼七 北海道平民
宮地 艶治 山形縣士族
西條 彌市郎 北海道平民
菅原 文夫 北海道平民
高橋 信孝 北海道平民

(明治三十九年十月卒業)

第十八期 (明治四十年三月卒業)

淺利 重治 北海道平民
 大河内 近之 福島縣平民
 山崎 常樹 三重縣士族
 笠井 善次郎 德島縣平民
 高田 榮五郎 北海道平民
 島田 五郎 長野縣平民
 佐藤 勝四郎 秋田縣平民
 駒野 茂作 北海道平民
 森 久 北海道士族
 湯野川 孝吉 北海道平民
 島山 孟岩 手縣平民
 繁野 秀介 北海道平民
 田邊 周二 石川縣士族
 黑田 毅四郎 愛知縣士族
 前田 久吉 福島縣士族
 千葉 北海 北海道士族
 大國 督 北海道平民
 高 平清 國人
 長谷川 浩 靜岡縣平民
 吉田 隆資 秋田縣平民
 小林 澄 大阪府平民
 北澤 道 北海道平民
 桂 宗 佐 新潟縣士族
 竹前 慶次郎 新潟縣平民
 村上 雄之助 北海道士族
 豐永 徹 熊本縣士族
 高橋 正男 北海道平民
 宮本 毅一 德島縣平民
 百瀬 英馬 北海道士族
 笠井 長平 北海道平民
 玉山 要 北海道士族
 山田 新吉 北海道平民
 黑澤 謙吾 北海道士族

第十九期 (明治四十一年三月卒業)

堀江 信次郎 北海道士族
 瀧澤 直記 北海道平民
 鈴木 良吉 秋田縣平民
 佐々木 晴吉 北海道平民
 木村 海一郎 北海道平民
 佐藤 久次郎 山形縣平民
 進藤 久米之進 秋田縣平民
 宮原 武男 北海道士族
 鹽川 万梓 神岡縣平民
 多屋 武 北海道平民
 鈴木 澤一 香川縣平民
 倉敷 秀雄 北海道士族
 仁木 茂 德島縣士族
 揚 熙 光清 國人
 牛 獻 周清 國人
 周 秉 琨清 國人
 齊 鼎 願清 國人
 王 之 鑑清 國人
 第二十期 (明治四十二年三月卒業)
 杉田 茂右衛門 青森縣平民
 安藤 二郎 東京府平民
 大澤 一 北海道士族
 相澤 友吉 北海道平民
 山内 政五郎 青森縣平民
 吉田 耕二 大阪府平民
 根本 胖彌 茨城縣平民
 清水 四郎 新潟縣平民
 伊達 正人 北海道學族
 和田 耕助 山形縣士族
 齋藤 德太郎 神奈川縣平民
 藤久 專一 廣島縣平民
 谷藤 正太郎 北海道平民
 野田 由太郎 北海道平民
 曲尾 寅男 長野縣平民
 鳥海 吉郎 山形縣平民
 月原 德逸 北海道平民
 龜山 楨次 北海道平民
 楠野 末廣 北海道平民
 稻田 豐 北海道平民
 菅井 博愛 北海道士族
 篠田 明 北海道平民
 上野 鐵男 北海道士族
 武邊 良造 長崎縣士族
 戶澤 忠二 北海道平民
 山下 太郎 秋田縣平民
 石野 慶太郎 青森縣平民
 多久和 憲 北海道士族
 新保 大吉郎 北海道平民
 岑 兆 麟清 國人

于 樹 楨 清 國 人
計千六百九十九人

農 學 士	四百三十三人
工 學 士	十 六 人
兵學科別課卒業生	四十二人
豫科卒業生	二百三十一人
豫修科卒業生	二百二十五人
大學豫科卒業生	六十六人
土木工學科卒業生	百三十五人
林學科卒業生	百十八人
農藝科卒業生	四百三十三人

●第十二 寄 宿 舍

寄宿舎ハ本學ノ北東ニ在リ明治三十六年ノ新築ニ係ル木造三階建二百九十六坪ニシテ附屬平家
建木造二百四十一坪五合石造三十坪アリ舎室ハ二棟ニシテ階上階下共ニ九區ニ劃シ總計三十六
每室四人ヲ容ルヘシ入舎ハ三十八年四月ヨリ開始ス明治四十二年十一月十五日現在ノ學生生徒
ハ左表ノ如シ

種 別	第 三 年	第 二 年	第 一 年	計
-----	-------	-------	-------	---

農 學 科	一	四	三	一七
大 學 豫 科	一	三	三	七
水 産 學 科	二	一	一	三
合 計	三	四	五	一二

●第十三 圖 書 館

本館ハ明治三十五年工ヲ起シ同年竣功三十六年六月此ニ移ル館内ハ職員閱覽室、學生生徒閱覽
室、圖書貸渡室、事務室等ノ數室ニ分ツ學生生徒閱覽室ハ百餘人ヲ容ル、ヲ得ル一大室ニシテ
圖書目錄檢索席、參考圖書閱覽席、通常閱覽席、新聞雜誌閱覽席ヲ備フ書庫ハ二層ノ煉瓦造ニ
シテ渡リ廊下ニヨリ前記諸室ニ通ス上下兩層ヲ合シ四万五千冊ノ圖書ヲ容ル、ニ足ル現今所藏
ノ圖書ハ明治四十二年十月末日ノ調査ニヨレハ和漢書一万五千四百七十八冊洋書一万四千二百
十冊圖類千七百九十一枚アリ圖書分類ハ札幌農學校創設ノ際定メタルモノニヨリ改ムルコトナ
カリシカ爾來學術ノ進歩ト圖書ノ増加ニ隨ヒ不便ヲ感スルモノ尠カラサルニヨリ明治三十三年
九月從來ノ分類法ヲ廢シ當時歐米ニ於テ最モ廣ク行ハル、分類法ヲ採用シ此ニ多少ノ修正ヲ加

へ全庫ノ圖書ヲ分類整頓シ其排列ヲ改メタリ
又記念ノ爲メ寄贈シタルモノヲ掲クレハ左ノ如シ但其員數ハ前掲中ニ包含セリ

記念文庫名	寄贈者	種類	員數	年	月
橋口文藏	札幌同窓會	洋書	二十二冊	明治三十七年	
二宮尊徳	加めら會	和書	六冊	全三十九年六月	
菊宿幸次郎	長嶺林三郎等	洋書	六冊	全三十九年三月	
坂井菊松	松村松年等	洋書	八冊	全三十八年九月	
石井小太郎	時任一彦等	洋書	二十冊	全三十五年	
平山八十五郎	山田玄太郎等	洋書	四冊	全三十八年九月	

●第十四 農場

本學ノ農場ハ之ヲ八箇所ニ區畫ス而シテ其第一農場ハ専ラ學生生徒ノ實習並ニ各種ノ試驗場ニ充ツ第二農場ハ歐米ノ農業法ニ則リ牧畜、耕作ノ業ヲ專ラトシ北海道ニ於ケル大農ノ適否如何ヲ究メ以テ本道農界ノ模範トナセリ第三、第四、第五、第六、第七及第八農場ハ専ラ本學土地貸下規程ニ據リ小作農場トナスヲ以テ目的トセリ又學術研究上必要アルトキハ小作人ニ依託試驗ヲ爲ツシム

第一農場ハ本學學生生徒實地ノ演習地トナスヲ以テ之ヲ左ノ數區ニ分ツ

- 水田 試驗園 特用作物園 蔬菜園 果樹園
- 生徒試作園 牧草試作園 植物標本園 普通耕作園 普通牧草地
- 放牧場
- 一水田 ハ普通試驗ノ二トシ試驗田ハ各般ノ試驗ヲ爲シ普通田ハ學生生徒ノ一般ノ栽培法ヲ實習スル所トス
- 一試驗園 ハ穀菽、蔬菜、特用作物等ヲ栽培シ各種ノ試驗ヲ行ヒ而シテ其結果ヲ公ニシ以テ本道農業ノ進歩ヲ計ルニアリ
- 一特用作物園 ハ大麻、亞麻、苧麻、苧麻、甜菜、薯蕷等ノ耕作ニ關スル試驗ヲ行フ所トス
- 一蔬菜園 ハ内外各種ノ蔬菜類ヲ蒐集栽培シ學生生徒之カ栽培蕃殖方法等ヲ實習シ且各般ノ試驗ヲ行フモノトス
- 一生徒試作園 ハ耕地五町歩ヲ區畫シ大農的組織トシ農學實科第三年生ヲシテ之ヲ擔當セシメ耕作收納ノ方法ヨリ收支ノ決算ニ至ル迄該生徒ヲシテ之ヲ掌ラシメ農場經營上ノ方法ヲ實地ニ練習シ他日ノ參考ニ便ナラシムル所トス
- 一果樹園 ハ本道ニ適スル各種ノ果樹類ヲ栽培シ學生生徒之カ栽培蕃殖ノ方法ヲ實習シ且各種ノ試驗ヲ行ヒ其結果ヲ世ニ公ニシ以テ北海道果樹栽培業ノ發達進歩ヲ計ルニアリ

- 一 牧草試作園 ハ内外各種ノ牧草ヲ栽培シテ其適否收量等ヲ實驗スルニアリ
- 一 植物標本園 ハ各種ノ植物ヲ栽培シ學生生徒ヲシテ之カ性質及栽培ヲ實習セシム
- 一 普通耕作園 ハ本道普通ノ作物ヲ栽培シ學生生徒ヲシテ其栽培收穫ノ方法及馬力農具等ノ運用法ヲ練習セシムル所トス
- 一 普通牧草地 ハ家畜ノ飼料ニ供スル乾草ヲ收ムルヲ以テ目的トス
- 一 放牧地 ハ夏期牛馬及綿羊ヲ牧養シ而シテ其放牧方法ヲ學生生徒ニ實習セシムル所トス

●第十五 農學標本室園藝標本室グラス室及温室

- 一 農學標本室ハ農學ノ研究ニ資シ若クハ其教授上ノ參考ニ供スル内外國產ノ標本ヲ蒐集保存スル所トス
- 一 園藝學標本室ハ園藝學ノ教授上必要ナル内外國產ノ標本ヲ蒐集貯藏スル所トス
- 一 農學講堂附屬グラス室ハ作物ノ生理、營養、交配等ニ關スル研究實習ヲナス所トス
- 一 農學講堂附屬温室ハ主トシテ冬期間蔬菜ヲ栽培シ園藝學上ノ研究實習ヲナス所トス

●第十六 植物腊葉室植物園及博物館

植物腊葉室ハ構内動物學講堂ニ接續セル煉瓦造ノ建築物ニシテ建坪二十五坪室内三方ニ棧敷ヲ架シ其上下ニ六十四個ノ標本箱ヲ設置ス現在貯藏セル標品ハ四万有餘點ナリ

植物園ハ札幌區北二條ヨリ北五條ニ跨リ西八丁目ヨリ十一丁目ニ亘リ其面積三万三千三百六十坪餘ヲ有ス本園ハ專ラ本道所產ノ植物及内外ノ種類ヲ汎ク蒐集栽培シ其分類所屬ヲ明カニシ植物學實地教授用並ニ研究ノ料ニ供スルノミナラス本道ノ風土ニ適否ヲ試驗シ以テ本道ノ園藝又ハ造林上ニ裨益セントスルニアリ園内ヲ自然分科園樹木園灌木園試驗園及温室附屬園ノ五區ニ分割ス

温室ハ專ラ暖國產ノ植物ヲ培養シ冬期間植物學研究ノ材料ニ供シ又植物生理ノ實驗場トス博物館ハ植物園内ニ在リテ二層ノ構造ナリ階上階下トモ陳列場ニ充テ本道所產ノ動植物及本道「アイヌ」人ノ製造ニ關スル各種ノ諸器物ヲ蒐集シ以テ學生研究上ノ用ニ供スルヲ以テ目的トスト雖モ又本道產ノ概況ヲ窺知セシメンカ爲メニ日時ヲ限リ衆庶ノ縱覽ヲ許セリ現今貯藏標本數ヲ合計スルトキハ一万二千六百七個ナリ之ヲ大別シテ天產部、勸業部、史傳部及圖書、寫眞ノ四門トス本館ハ札幌區内最モ幽邃閑雅ノ地ニアリ夏期間衆庶競フテ縱覽シ恰モ一ノ小公園タルノ觀アリ明治四十二年四月一日ヨリ十一月末日ニ至ル開館日數ハ六十九日ニシテ參觀人ハ一万八千八百四十五人ナリ

●第十七 資 産

〇一 土 地 (明治四十二年十月末日現在)

所 用	所 在 地	地 積	價 格
學舍敷地	札幌區北八條	三五,五四二〇	三,二五〇三
道路敷地	同	四,七七六〇	一,四三六
官舎敷地	同	二,三四四〇	一,五七〇
植物園用地	同	三,三六〇三五	一,〇五一四
宅地及道路敷地	同 北二條	一七,二四〇〇〇	一七,三三四〇〇
同	同 北一、二、三條	三,九七七五	三,九七七五
同	同 北二、三、四條	七,二五二〇〇	七,三三三〇〇
宅地	同 北七條	六,四八〇〇〇	六,四八〇〇〇
宅地及道路敷地	同 北八條	七,〇一〇〇〇	七,〇一〇〇〇
同	同 北九條	二,八三二〇	二,八三二〇
同	同 北十條	三,一五六四〇	三,一五六四〇
同	同 北十一條	一〇,八九九〇〇	一〇,八九九〇〇

百八十四

同	同	北十二條	一三,八四五九〇〇	一三,八四五九〇〇
同	同	北十三條	一八,六八四六七五	一八,六八四六七五
同	同	北十四條	一七,九七三〇九〇	一七,九七三〇九〇
同	同	北十五條	一五,三四三〇六	一五,三四三〇六
同	同	北五條	六,一九四四八〇	六,一九四四八〇
同	同	北八條	三,五四二二〇〇	七,五四〇五三
同	同	北八條	三,五四二二〇〇	七,五四〇五三
第 一 農 場	石狩國札幌郡札幌村	九,五三,二四二〇〇	一九,六九八六八九	
第 二 農 場	同	三,五,九四六九九	一五,七二六五八九	
第 三 農 場	石狩國札幌郡札幌村	一,九四二,八四三〇〇	六,〇九五二四	
第 四 農 場	同 豐平村大字平岸村	一,五二〇,〇〇〇〇〇〇	二,二八〇〇〇	
第 五 農 場	石狩國夕張郡角田村	二,一四〇,二〇〇〇〇〇	三,二一〇三〇〇	
第 六 農 場	同	二,三九,七三三三〇	六,三四〇七三	
第 七 農 場	渡島國龜田郡七飯村	一一,四三,五九九〇〇	一一,四二八二五四	
第 八 農 場	石狩國空知郡下富良野村			

百八十五

區別	種類	種類	坪	價	格
○二 建物 (明治四十二年十月末日現在)	雨龍演習林	同 雨龍郡深川村	九〇,〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇,〇〇〇
	天鹽演習林	天鹽國中川郡中川村	六〇,〇〇〇,〇〇〇	〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇,〇〇〇
	苦小牧演習林	膽振國勇拂郡苦小牧村	六,八〇二,二七〇	一,三三〇,〇〇〇	六,八〇二,二七〇
	臨海實驗所用地	後志國忍路郡忍路村	一,五七六,三三七〇	一,三三〇,〇〇〇	一,九四三,〇〇〇
	計		一五七,六三七,〇〇〇	三,五七六,三三七〇	三,五七六,三三七〇
○三 有價證券 (明治四十二年十月末日現在)	本學煉瓦	造	二六,二〇〇	一八,九四六,五五八	一八,九四六,五五八
	石造	造	五七,〇〇〇	五,九一九,五六四	五,九一九,五六四
	石造	造	三,四六九,九五五	三,四六九,九五五	三,四六九,九五五
	木造	造	二八七,四〇〇	二,六〇二,一八七	二,六〇二,一八七
	木造	造	二,五〇三,三三三	三九,三四三,三三三	三九,三四三,三三三
植物園	造	二四,二一〇	八,一三二,七八二	八,一三二,七八二	
計		六,四五三,三七七	二九,九六二,七五二	二九,九六二,七五二	

種別	額	面	價	格
軍事公債證書	一一,五〇〇,〇〇〇			一一,五〇〇,〇〇〇
整理公債證書	五七,二五〇,〇〇〇			五〇,九〇三,三七五
現金(金庫寄託)	五,三四七,九五二			五,三四七,九五二
計	七四,〇九七,九五二			六七,七五一,三二六

○四 動物 (明治四十二年二月末日現在)

家畜類ハ經濟用ト試驗用ノ二種ニ分テ經濟用ハ搾乳ヲ主トシ試驗用ハ内外各種ヲ飼養シ學生生徒ヲシテ其蕃殖、飼養、攝生及管理法等ヲ攷究セシムルニアリ其家畜類ノ名稱數量ヲ擧クレハ左ノ如シ

名稱	頭數	價	格
牝牛	三	二,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇
牝牛	九	八,六七五,〇〇〇	八,六七五,〇〇〇
牝馬	二	一,一五〇,〇〇〇	一,一五〇,〇〇〇
牝馬	五	一八〇,〇〇〇	一八〇,〇〇〇

北海道	東京	京都	大阪	神戶	兵庫	長崎	新潟	埼玉	群馬	千葉	茨城	栃木
農學科	農學科	農學科	農學科	農學科	農學科	農學科	農學科	農學科	農學科	農學科	農學科	農學科
16	18	21	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
藝	藝	藝	藝	藝	藝	藝	藝	藝	藝	藝	藝	藝
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
豫	豫	豫	豫	豫	豫	豫	豫	豫	豫	豫	豫	豫
36	35	28	22	21	21	21	21	21	21	21	21	21
工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林	林
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水	水
20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
26	25	18	12	11	11	11	11	11	11	11	11	11

〇二 學生生徒道府縣別表 (明治四十二年十月十五日調)

農藝化學科	大學豫科	農學實科	土木工程科	林學科	水產學科
第1年	第1年	第1年	第1年	第1年	第1年
26	24	25	26	27	28
第2年	第2年	第2年	第2年	第2年	第2年
26	24	25	26	27	28
第3年	第3年	第3年	第3年	第3年	第3年
26	24	25	26	27	28
計	計	計	計	計	計
78	72	75	78	81	84

沖鹿宮熊佐大福高愛香徳和山廣岡島鳥
兒 歌
繩島崎本賀分岡知媛川島山口島山根取

一 一 一 一 三 一 一 二 一 一 三 八 二 一 一
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
一 三 一 〇 一 五 五 三 三 四 一 二 四 五 四 五 四
一 一 一 四 一 一 三 一 一 一 一 一 一 四 一 一 一
一 二 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
一 一 一 一 四 一 三 三 一 一 一 一 一 一 一 一
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

百九十三

富石福秋山青岩福宮長岐滋山靜愛三奈
山川井田形森手島城野阜賀梨岡知重良

一 一 一 一 二 三 二 三 一 二 一 三 一 一 一
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
三 二 五 六 一 五 六 九 四 九 四 一 二 二 六 七 一
三 二 三 一 四 一 一 一 三 二 一 一 一 六 一 一 一
一 一 一 一 四 七 二 二 四 三 一 一 一 一 一 一 一
一 一 一 一 六 三 四 一 四 二 六 二 一 一 一 一 一
三 一 二 三 六 三 三 六 八 三 三 三 一 四 一 一
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

百九十二

○四 工學士職業別 (明治四十二年十月末日調)

職業	職業別							計
	第一期	第二期	第三期	第四期	第五期	第六期	第七期	
技 術 官								
專 門 學 校 教 員								
官 廳 屬 託								
海 外 留 學 業								
實 業								
計	二	一	一	一	一	一	二	八
職 業								
技 術 官								
專 門 學 校 教 員								
會 社 員								
海 外 留 學 業								
計	八	二	一	一	一	一	二	十六
職 業								
技 術 官								
專 門 學 校 教 員								
會 社 員								
海 外 留 學 業								
計	八	二	一	一	一	一	二	十六

○五 土木工學科卒業生職業別 (明治四十二年十月末日調)

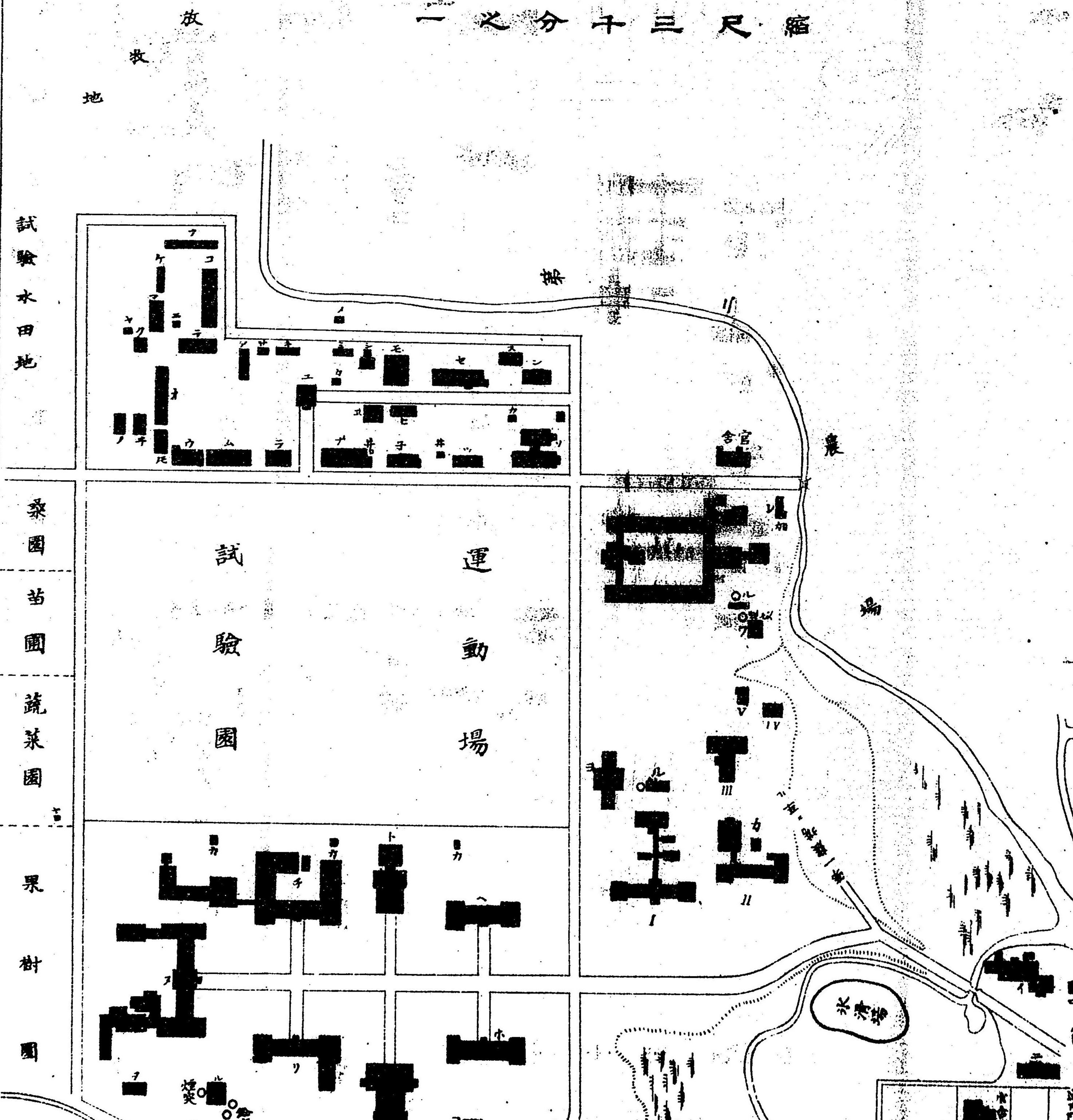
職業	職業別								計
	第一期	第二期	第三期	第四期	第五期	第六期	第七期	第八期	
技 術 官									
專 門 學 校 教 員									
會 社 員									
海 外 留 學 業									
計	八	二	一	一	一	一	一	二	十六
職 業									
技 術 官									
專 門 學 校 教 員									
會 社 員									
海 外 留 學 業									
計	八	二	一	一	一	一	一	二	十六

○六 林學科卒業生職業別 (明治四十二年十月末日調)

職業	職業別							計
	第一期	第二期	第三期	第四期	第五期	第六期	第七期	
技 術 官								
專 門 學 校 教 員								
會 社 員								
大 學 生 及 研 究 員								
兵 隊 役								
不 詳								
計	四	二	一	一	一	一	一	十二
職 業								
技 術 官								
專 門 學 校 教 員								
會 社 員								
大 學 生 及 研 究 員								
兵 隊 役								
不 詳								
計	四	二	一	一	一	一	一	十二

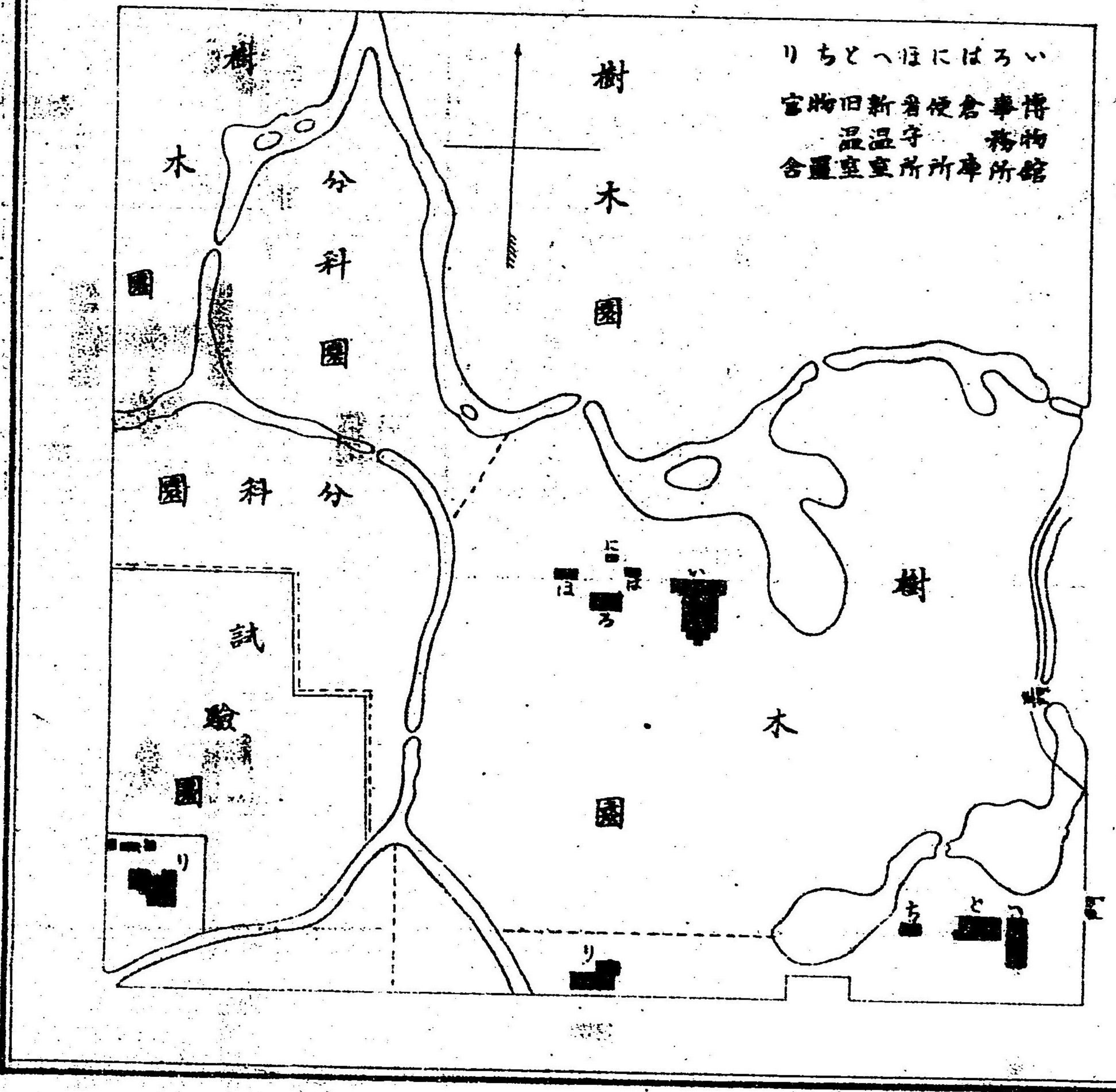
圖之物建場農一第及舍校學大科農學大國帝北東

一之分千三尺縮



圖心館物博及園物植學大國帝北東

一之分千三尺縮



子	ソ	レ	タ	ヨ	カ	ワ	ヲ	ル	又	リ	チ	ト	ハ	ホ	ニ	ハ	口	イ
製	醸	造	及	寄	宿	雨	瓦	暖	農	動	農	園	昆	小	二	ハ	口	イ
所	室	室	室	舎	舎	所	所	所	室	室	室	館	堂	堂	庫	所	庫	所
メ	工	キ	サ	ア	チ	エ	コ	フ	ケ	マ	ヤ	グ	オ	ノ	ウ	ム	ラ	ナ
氷	農	木	燃	電	牛	緑	収	半	葉	牧	人	堆	堆	肥	農	肥	實	實

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

附 録

○文武會規則

第一章 總 則

- 第一條 本會ハ會員ノ智徳ヲ研修シ體育ヲ獎勵シ兼テ會員ノ一環結合ヲ計ルヲ目的トス
- 第二條 本會ヲ文武會ト稱ス
- 第三條 本會ニ左ノ諸部ヲ置ク
 - 學藝部 遊戯部 擊劍部 柔道部 弓術部 庭球部 野球部 スケーチング部
- 第四條 會員ハ學藝部及遊戯部ノ部員タル外其他ノ各部ニ加入シ其部員トナルコトヲ得 但シ特別會員ハ別ニ加入ヲ要セス其技ニ加ハルコトヲ得
- 第二章 會 員
- 第五條 本學在籍ノ學生生徒ハ必ス通常會員タルヘキ義務アルモノトス
- 第六條 本學ノ教官ハ特別會員タルヘキモノトス
- 第七條 本學舊札幌農學校卒業生及本學ニ關係アルモノハ贊助會員トナルコトヲ得
- 第三章 役 員
- 第八條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 - 會 頭 一名 副會頭 一名

委員長 一名 委員 十八名(但當分ノ中十七名)

第九條 會頭ハ本學長ヲ推戴ス

第十條 副會頭ハ特別會員中ニ就キ委員之ヲ推薦シ會頭ノ承認ヲ經タルモノトス

第十一條 委員長ハ特別會員中ニ就キ委員之ヲ推薦シ會頭ノ承認ヲ經タルモノトス

第十二條 會頭ハ本會ヲ總攬シ會頭事故アルトキハ副會頭之ヲ代理ス

委員長ハ會頭ヲ補佐シ庶務會計ノ事務ヲ監理ス

第十三條 委員ハ各科ヨリ二名ヲ選舉スルモノトス

但シ當分ノ中各組ヨリ一名ヲ選舉スルモノトス

委員中主任二名ヲ互選シ庶務會計ノ事務ヲ分擔セシム

第十四條 役員ハ各部ノ役員ヲ兼スルコトヲ得ス

委員長及委員ハ任期ヲ一ケ年トシ毎年二月ニ改選ス但シ改選ニ際シ再選セラル、コトヲ得

第四章 委員會

第十五條 委員會ハ左ノ事項ヲ處理スル爲メ毎學期ノ始メ委員長之ヲ召集ス

但シ必要ニ應シ臨時ニ之ヲ召集スルコトアルヘシ

一、各部ノ統一

一、豫算編成

一、本會ニ關スル重大ナル事項

第十六條 會頭ハ必要ト認メタル時特別會員中ヨリ五名ノ臨時委員ヲ指定シテ委員會ニ列席セシムルコトヲ得

第十七條 各部部长ハ其部ノ事務ニ關シ委員會ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得

但シ決議ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

第十八條 委員會ハ其三分ノ二以上ノ出席アルニ非サレハ議決ヲナスコトヲ得ス

第十九條 委員會ノ決議ハ會頭ノ承認ヲ經テ之ヲ施行スルモノトス

第五章 會計

第二十條 通常會員ノ會費ハ一ケ年金壹圓五拾錢トシ左ノ三期ニ之ヲ分納スヘシ

一月 四月 九月

第二十一條 特別會員ハ會費トシテ俸給月額百分ノ一ヲ毎月納ムルモノトス

第二十二條 贊助會員ハ毎年金壹圓以上ヲ納ムルモノトス

第二十三條 左ノ各項ニ該當スルモノハ會費ヲ要セス

一、贊助會員ニシテ一時金拾圓ヲ納メタルモノ

一、特別會員ヨリ贊助會員ニ轉シタルモノ

第二十四條 第二十三條第一項ノ金額ハ之ヲ基本金ニ編入スルモノトス

第二十五條 會費ハ委員會ニテ編成シタル豫算ニ從テ之ヲ使用スヘシ

但シ會計年度ハ九月ニ初マリ翌年七月ニ終ル

第廿六條 基本金ハ基本財産トシ利子ノ外使用流用スルコトヲ得ス

第廿七條 會頭ハ本學會計員ニ會計委員ノ事務ヲ囑託シ主任委員ト共ニ會計ヲ整理セシム

第六章 附 則

第廿八條 本會ハ毎年三回會報ヲ刊行シテ會員ニ頒ツ

第廿九條 本規則修正ニ關スル發議ハ會頭ノ提出ニ係ル者ノ外委員ノ過半数或ハ會員六十名以

上ノ賛成ヲ得タルニ非ザレハ提出スルコトヲ得ス

第三十條 本規則ニ關スル修正ハ委員會ヲ開キ五分ノ四以上ノ出席ヲ以テ半数以上ノ同意ニヨ

リテ決ス

○文武會各部通則

第一條 各部ニ左ノ役員ヲ置ク

部長 一名 幹事 若干名

第二條 部長ハ特別會員中ヨリ各部幹事之ヲ選定スルモノトス

第三條 幹事ハ各部部員中ヨリ互選スルモノトス

幹事中主任一名ヲ定ム

第四條 幹事ノ任期ヲ一ケ年トシ毎年二月ニ改選スヘシ

但シ再選スルコトヲ得

第五條 役員ハ專任トス

但シ部長ハ二部ヲ兼ヌルコトヲ得

第六條 學藝部及遊戲部ノ經費ハ本會ノ負擔トシ其他ノ各部ニハ一定ノ補助金ヲ給シ特別ノ會

計ヲ立テシム

第七條 此通則ニ隨ヒ各部細則ヲ規定シ會頭ノ承認ヲ經テ之ヲ施行スヘシ

○學 藝 部 細 則

第一條 本部ハ文武會規則第三條及第廿八條ニ基キ會報ノ編纂及演說講話會ヲ開クヲ以テ本領

トス

第二條 會報ハ左ノ時期ニ於テ發行スルモノトス

一、十二月 一、三月 一、六月

第三條 會報ノ内容左ノ如シ

一、本學職員及學生生徒ノ現況及卒業生ノ動靜

一、本學内ニ設置セル諸會ノ現況

一、文武會ニ關スル記事

一、寄贈書籍ノ批評

一、會員思潮

一、本部演說講話會ニ於ケル演說講話ニシテ掲載ノ必要アリト認メタルモノ
二、以上條項外ノ記事其他ニシテ有益ト認メタルモノハ編輯會議ノ協賛ヲ經テ掲載スルモノトス

第四條 毎月一回第一土曜日、演說及講話會ヲ開クモノトス

第五條 時宜ヲ計リ左ノ事項ヲナスモノトス
一、每學期一回公衆講話會ヲ開ク
一、名士ヲ招待シ講話會ヲ開キ公衆ノ傍聴ヲ許スコトアルヘシ

第六條 本部幹事ハ各組ヨリ一名互選スルモノトス部長ハ幹事之レヲ本學教官ヨリ推選シ幹事主任ハ幹事中ヨリ互選スルモノトス

第七條 每學期一回編輯會議ヲ開キ會報編纂ニ關シ協議スルモノトス

○遊戯部細則

第一條 本部ハ文武會規則ニ從ヒ遠足及遊戯會ニ關スル萬般ノ事項ヲ處理スルモノトス

第二條 一年一回五月ニ於テ遊戯會ヲ開キ一年一回二月及十月ニ於テ遠足會ヲ催ス

第三條 本部ニ左ノ役員ヲ置ク

部長 一名 幹事 二十一名

第四條 本部幹事ハ各組ヨリ二名宛互選スルモノトス部長ハ幹事之レヲ本學教官ヨリ推選シ主任幹事ハ幹事中ヨリ互選スルモノトス

○擊劍部細則

第一條 本部ハ文武會通常會員ノ有志者ヲ以テ組織ス

第二條 本部ニ左ノ役員ヲ置ク

一、部長 一名 一、幹事 七名（内一名ヲ主任トス）

第三條 本部部員ハ部費トシテ年金二十錢ヲ納ムルモノトス

第四條 本部ハ年三回小集會ヲ一回大會ヲ開ク

○柔道部細則

第一條 本部ハ文武會通常會員ノ有志者ヲ以テ組織ス

第二條 本部ニ左ノ役員ヲ置ク

一、部長 一名 幹事 六名

第三條 本部部員ハ部費トシテ毎年金貳拾錢ヲ納付スヘシ

第四條 每學期一回小集會ヲ開キ一學年一回大會ヲ開ク

第五條 部員タルノ資格ヲ耻カシムル者ハ除名ス

○弓術部細則

- 第一條 本部ハ文武會通常會員ノ有志者ヲ以テ組織ス
- 第二條 本部ニ左ノ役員ヲ置ク
 - 一、部長 一名 幹事 五名
- 第三條 本部々員ハ部費トシテ毎月金五錢ヲ納付スヘシ
- 第四條 春秋二季大會ヲ開ク
- 第五條 本部部长ニシテ其責任ヲ盡サ、ルモノハ除名ス

○野球部細則

- 第一條 本部ハ文武會通常會員ノ有志者ヲ以テ組織ス
- 第二條 本部ニ左ノ役員ヲ置ク
 - 一、部長 一名 幹事 五名
- 第三條 本部部长ハ毎月部費トシテ金五錢ヲ納付スヘシ
- 第四條 本部部长ニシテ其責任ヲ盡サ、ルモノハ除名ス

○庭球部細則

- 第一條 本會ハ文武會通常會員中ノ有志者ヲ以テ組織ス

第二條 本部ニ左ノ役員ヲ置キ事務ヲ掌理ス

- 一、部長 一名
- 一、幹事 七名 主任一名、會計一名、各コート幹事一名宛
- 第三條 本部部长ハ毎月金十錢宛ヲ會計幹事ニ納付スヘシ
但シ臨事會費ヲ徵集スルコトアルヘシ
- 第四條 新ニ入部セントスルモノハ入部金十五錢ヲ納付スヘシ
- 第五條 本部部长ニシテ其責任ヲ盡サ、ルモノハ除名ス

○スケーティング部細則

- 第一條 本部ハ文武會通常會員ノ有志者ヲ以テ組織ス
- 第二條 本部ニ左ノ役員ヲ置ク
 - 一、部長 一名 幹事 六名
- 第三條 本部開設時期ハ毎年十二月ニ初マリ翌年三月ニ至ル四ヶ月間トス
- 第四條 本部部长ハ開設時期ノ間部費トシテ毎月金拾錢ヲ納付スヘシ

Table of Contents (目次) with multiple columns of text listing chapters and page numbers.

明治四十二年十二月二十五日印刷
明治四十二年十二月二十八日發行

東北帝國大學農科大學

印刷者 北海道札幌區南一條西三丁目 中村信以

印刷所 東京市神田區三崎町三丁目一番地 日本印刷株式會社

發賣所 札幌區南一條西三丁目 富貴堂書房

共 濟 池 其 餘 諸 事 均 照 舊 章 行 事 此 佈

日 本 國 際 博 覽 會 組 織 會 議 紀 要

中 華 博 覽 會 紀 要

東 亞 帝 國 大 學 慶 典 大 學

開 辦 十 二 年 十 一 月 十 八 日 發 行

總 發 行 所 十 二 年 十 一 月 十 五 日 印 行

